

# 報告書

作成者：MORE 企画 大石彩夏  
作成日：2025/1/25

## 1 プロジェクトの概要

タイトル	海と日本☆伊豆半島の海ゴミ一掃プロジェクト@伊東マリンタウン
実施目的	主な目的は、【生態系の保護】【環境保全】【公共の利益の向上】【社会的責任の履行】の4点です。海中のゴミを放置しておく、そこに住む海洋生物に危害を及ぼし、ひいては海の生態系に悪影響を及ぼします。また、海岸に流れ着いたり水面に浮かんでいたりすることで景観も損ないます。水中清掃を行うことで、海の魅力をさらに高め、生態系を保護し、社会貢献活動として街全体の価値をあげることに繋がります。

## 2. プロジェクトの詳細

内容背景	今回、清掃場所となるのは MORE 企画のメンバーが在住している伊東市の玄関口である、マリンタウンのマリーナです。第一回目の【伊豆半島の海ゴミ一掃プロジェクト】で、静浦マリーナを清掃した流れで、伊東市のマリンタウンにも声をかけ実施が確定しました。しかし、このマリーナはプライベート空間で管理されており、またサポーターとして海保やマリーナスタッフがいることや、水中には一般ゴミ(缶やペットボトルなど)が多いと判断し、サイド企画として開催することで決定しました。
概要	【日時】2025年1月25日(土)11時~12時 【場所】〒414-0002 静岡県伊東市湯川 571-19 (マリンタウン) 【主催】MORE 企画 (代表: 白井) 【協力】伊東マリンタウン(株)、伊東サンライズマリーナ 【協賛】伊東マリンタウン(株)、静岡県マリーナ協会
施設	駐車場、トイレ、水はマリンタウンで借りる。
協賛品	ランチ: 伊東マリンタウン(株) (マリーナ展望レストラン) お土産のお菓子: 伊東マリンタウン(株) 温泉券: 伊東マリンタウン(株) (朝日の湯シーサイドスパ)
保険	あいおいニッセイ同和損害保険 (傷害: 潜水作業あり、潜水作業無し両方)
使用道具	水中道具: ゴミ袋、メッシュバッグ、ナイフ、グローブ 陸上道具: ホース、器材洗い場
チーム分け	水中班 (8名) : 2名1チーム×4チーム (プロライセンス保持者5名、セミプロ3名) 水面班 (3名) : 海上保安庁 船上班 (1名) : 伊東サンライズマリーナ 陸班 (2名) : MORE 企画、海上保安庁
傷害保険対象者	【水中】白井ゆみ (MORE 企画)、有森南央 (MORE 企画)、大石彩夏 (MORE 企画)、小村麻衣花 (プロダイバー)、上野紗英 (プロダイバー) 丸山いづみ (ダイバー) 三枝碧美 (プロダイバー) オッコさん、(ダイバー) 【陸】小泉造 (MOREs)

安全管理	<p>(1) 事故発生時にはマリーナの「事故発生時の連絡網」に従って対応する。 海上保安庁：118 消防：119 警察：110 近隣の病院、軽症の場合、重症の場合：マリーナの事故発生時の連絡網に従う</p> <p>(2) 水中班は岸壁沿いの栈橋からエントリー、水面にはマリーナの監視船がボートの往来あった際の連携役とゴミの引き上げ場として配置</p> <p>(3) ゴミの引き上げは、海上保安庁3名が水面で待機、水中班と監視船との間を素潜りで連携役となる。</p> <p>(4) 終了時は、浮き栈橋に設置してあるラダーからエキジット。ラダー位置が高くダイビング器材を付けたまま陸へ上がるのが困難だったため、水面にて先に器材を取り外し陸班に引きあげてもらった</p>
ゴミの処理	マリーナで引き取り
行程	<p>10:30 マリントウン集合</p> <p>10:40 準備、器材セッティング</p> <p>10:50 ブリーフィング時間（挨拶、作業内容、安全説明）</p> <p>11:20 エントリー</p> <p>12:00 終了</p> <p>12:30 片付け</p> <p>13:15 写真撮影、関係者へ挨拶</p> <p>13:30 マリーナ展望レストランにて昼食</p> <p>14:30 朝日の湯にて入浴</p> <p>15:00 解散</p>

### 3. 実施実績

量	100 kg以上
内容	自転車タイヤ、金網、空き缶、空き瓶、ペットボトル、食品容器、携帯電話、漁具、
詳細	<p>水深：平均 4m</p> <p>水温と透明度：水温 16 度、透視度 5～15m</p> <p>作業上の注意点：ロスト、予め決められた範囲から出ない、正体不明な物は拾わない</p>

### 4. 収支 ※下記金額は、すべて MORE 企画の負担とする。

	内容	金額	仕入れ先/支払い先
収入	協賛金	0 円	協賛店・協賛企業・個人
支出	シリンダー代	11,440 円	協賛価格（8 本）
	スタッフ経費	30,000 円	交通費・打ち合わせ
	合計	41,440 円	

## 5. 実施の様子と内容

流れ	集合	10:30- 参加者、関係者全員集合・会場セッティング
	準備	10:40-11:20 器材セッティング・手順最終確認  
	入水	11:20 赤枠から水中班全員でジャイアントでエントリー 黄枠エリア内を清掃  
	水中	11:40-12:00 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水中班は1人1つ水中ゴミ袋を持って入水</li> <li>・ゴミ袋がいっぱいになったら水面班へ一度受け渡し、中のゴミを船上で取り出しゴミ袋は再度水中班へ</li> <li>・袋に入らない大きな物は直接水面班へ受け渡し</li> <li>・上記を各チームごとに繰り返す</li> </ul> 



<水中の動き>

2名バディ×4組で潜り、水面に海上保安官が待機。安全管理と陸へのゴミ受け渡しの役割をしてもらった。

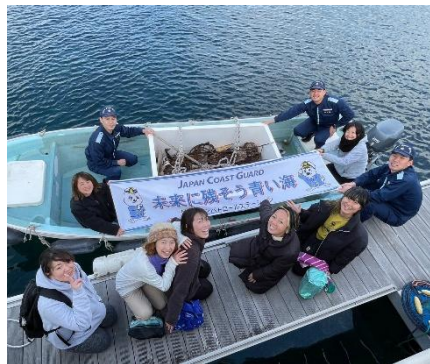
<成果>

100 kg以上を回収。陸からは見えなかったが、長期間沈んでいたであろうゴミが複数見つかった。

終了  
片付け

12:00-13:15

終了後、写真撮影



昼食  
入浴  
終了

13:30-15:00

マリーナ展望レストランにて昼食をいただいた後、同じフロアにある朝日の湯にて入浴。解散。

マリンタウンより、水中清掃8名分の温泉券（1年間有効）と昼食、お土産をいただいた。



## 6. その他

見学者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事前に MORE 企画の SNS やポスターでの宣伝をしていたため、遠方より見学に来られたダイバーがいた。</li><li>● 入水時には見学者は見られなかったが、海から上がった際にはマリントウンに訪れていた一般の人達からの視線は感じ、興味関心は持ってもらったと予想。</li></ul>
感想と次回へ向けて	<p>【全体的な感想と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 水中は透視度も高く、水深も浅かった為安全に清掃ができた。</li><li>● ゴミ袋がいっぱいになった際に水面班が臨機応変に対応してくれたので、予想よりも多くのゴミを回収することができた</li><li>● 産業廃棄物のようなゴミは少なく、ペットボトルやお弁当の容器など一般家庭ゴミが多く見受けられた（風で飛ばされる様子）</li><li>● 海に沈んでから長い年月が経っているゴミがほとんどだった</li><li>● 海辺での販売商品（キッチンカーなど）に、「販売をする責任」と問うても良いと思う</li></ul> <p>【参加したダイバーの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 和船を出してくれたことで、途中のゴミを受け取ってくれて助かった</li><li>● 海上保安官が水面に居てくれたことで、和船との連携がスムーズだった</li><li>● マリーナスタッフ、海上保安官、MORE 公式メンバーでゴミ拾いができて嬉しかった</li><li>● ランチや温泉、お菓子のお土産までありとても嬉しかった</li><li>● 思ったよりも水が綺麗だった。日頃の管理の丁寧さと徹底具合を感じた。</li><li>● 想像していたよりもゴミが少なかった（人の目があり管理されていることが大きい）</li><li>● まだ、沈んでいるゴミはあったため、もっと拾いたいと感じた</li></ul>
各種申請・許可・人員	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2024/12/22：マリントウンにて関係者顔合わせ&amp;日程調整（MORE 企画白井、伊東サンライズマリーナ松永様、海上保安庁様）</li><li>● 熱海土木事務所へ港一時使用許可書提出済</li></ul>